

## 令和5年度 コア会議報告

### 今年度の取り組み:

南晴病院入院患者に対する、退院・地域移行への働きかけを通して、庁内外の関係機関の連携強化や地域資源の共有を図り、効果的な啓発について検討する。

### 背景:

- ・長期入院者は退院までのプロセスがイメージしづらく、また、退院後の生活への不安が大きいため、病的には退院可能であっても地域移行が進まない現状がある。
- ・これまでの退院支援は個別支援が主であり、集団へのアプローチを行うことで、効率的に退院への意欲を高めることができるのではないか。
- ・これまでも各機関が個々に連携し様々な取り組みを行ってきたが、協働することでより効率的・効果的に実施する仕組みづくりを目指す。

### 経過:

- 令和5年5月 南晴病院にて、入院患者約 30 名とスタッフに向け、障がい者総合サポートセンターの説明会を実施
- 6月 南晴病院入院患者グループが障がい者総合サポートセンターを見学
- 7月 第1回コア会議実施。今後のアプローチについて意見交換
- 9～10月 南晴病院入院患者へアンケート実施
- 10月 第2回コア会議実施。アンケート結果の共有、アンケート結果を踏まえ、今後の展開について意見交換
- 11月 南晴病院にて、入院患者約30名に向け、プシケおおた 岡本氏より退院支援や退院後の生活の支援について説明会を実施

### 評価・課題:

- ・企画を通し、地域の課題や強みを共有する機会が増え、顔の見える関係づくりが進んでいる。
- ・アンケートを実施することで、入院患者の地域生活に対する希望や不安が明確になった。
- ・説明会に参加した患者の反応は様々であり、継続した取り組みにより、患者の退院への意識がどのように変化するか経過を追い、評価する必要がある。
- ・病院スタッフや地域の支援者向けの啓発も必要。複合課題対応研修や地域移行・地域定着研修の活用を検討する。

### 今後の予定:

- ・令和6年2月 第3回コア会議にて、今年度の取り組みを総括し、次年度以降どのように展開していくか検討する。